

<2024年会員大会・会長挨拶>

皆様こんにちは。会長の、新谷です。

本日は、お忙しい中、2024年度の大阪代協通常総会にご参加をいただき、

誠にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。

能登半島地震をはじめ、自然災害等で被害に遭われた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

さて、私は、会長にご指名をいただいてから、早いもので1期2年が過ぎました。

ようやくではありますが、大阪代協の会長がどういう立場なのか、理解が追い付いて参りました。

正会員数が800名を超える代協は、全国に東京と大阪しかありません。

この大勢の皆様の思いを背負って、金融庁や財務局、損保協会、保険会社各社、日本代協と話をすることの重みを、ひしひしと感じております。中途半端な覚悟で、できるものではありません。

3月のLIVEステーションでも申し上げましたが、昨年度は歴史が大きく動いた1年でした。

保険会社による度重なる、不適切な問題により、保険業界のこれまでの常識が崩れ、新たな価値観が生まれようとしています。

私達、大阪代協でも「あるべき顧客本位」について保険会社との意見交換会を行い、皆さんの意見を代理店手数料ポイント制度に一部反映させるなど、画期的な取組みを行うことができました。

今年度も、損保業界は非常に不透明な中で手探り状態が続いています。

何がどのように定まっていくのか、現状では、なかなか見通すことができません。

金融庁では、有識者会議が設営され、損保協会では抜本改革プロジェクトチームが立ち上がっています。

しかし、このどちらにも、我々代協によるオブザーブ参加が認められており、論議過程や成行きをいち早く知る立場にあります。

このように変化の激しい時代ほど、代協の存在意義が発揮されるのです。

大阪代協は、会員である代理店の皆様に、「役に立つ・勉強になる・交流できる」場を提供して参ります。

是非、ひとりでも多くの方に代協活動に参加いただき、ご意見をお聞かせ下さい。

今年度も大阪代協の活動が、私たちにとって有意義なものとなるよう、皆で力を合わせて取組んで参りましょう。

この後いくつかの審議事項がございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

簡単ではありますが、総会の開会にあたり、わたくしのご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。